

科 目	英語演習 (The Practice of English)		
担当教員	(前期)折附 良啓 非常勤講師、Miller 非常勤講師 (後期) 山本 長紀 講師		
対象学年等	都市工学科・5年・通年・必修・2単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	B3(70%), B4(30%)	JABEE基準	(d),(f)
授業の概要と方針	前期は、クラスを2つに分け、少人数教育を実施する。授業計画の2回～8回と9回～15回がセットになっており、学生は入れ替わることになる。前期授業の半分は、英語で発信できる技術者を目指し、自分の考えを英語で発表するための技術の基本を学習する。前期授業の半分と後期の授業では、科学技術やその他のテーマを扱った英文とTOEICテストを演習形式で学習する。また、プレゼンテーション・コンテストに向けた演習も実施する。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【B3】英語の論理展開を理解し、プレゼンテーション用原稿作成に利用できる。		英語の論理展開を理解し、プレゼンテーション用原稿作成に利用できているかどうか、原稿チェック時に評価する。
2	【B3】プレゼンテーションのための態度や提示の基本的な方法を理解し実践できる。		プレゼンテーションのための態度や提示の基本的な方法を実践できているかどうか、発表会で評価する。
3	【B4】科学技術やその他のテーマに関する英文を読み、正確に英文を読み取ることができる。		科学技術やその他のテーマに関する英文の読解力は、演習と中間試験および定期試験で評価する。
4	【B4】科学技術やその他のテーマに関する語彙を増加させる。		科学技術やその他のテーマに関する語彙力は、演習と中間試験および定期試験で評価する。
5	【B3】TOEICテストの演習を数多くこなすことにより、TOEICのスコアを向上させることができる。		TOEICテストに関しては、演習と中間試験および定期試験で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70% プrezentation25% 演習5% として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「Science for Fun!(楽しんで読む最新科学)」:服部圭子,山下弥生,長谷川由美,Robert Perkins著(金星堂)		
参考書	「理科系のための入門英語プレゼンテーション」:廣岡美彦著(朝倉書店) 「はじめての英語プレゼンテーション」:飯泉恵美子,T. J. Oba著(ジャパンタイムズ) 「理工系大学生のための英語ハンドブック」:東京工業大学外国語研究教育センター編(三省堂)		
関連科目	本科目は、これ以外の英語科が開講するすべての科目に関連する。		
履修上の注意事項	電子辞書または英和・和英辞典を持参すること。また、指示された課題や、予習・復習を確実に行うこと。		

